



第90号

2011/ 8

クリーンモバイル都市圏構想

交通基本法から
「クリーンモバイル都市圏構想」へ

人と環境にやさしいクリーンモバイル都市圏では、高度にスマート化された自然エネルギー発電を最大限利用し、電車、バス、自動車は廃棄ガスを出さない、「クリーンモバイル」だけが走っています。自転車道が徹底的に整備され、車いすだけでなく様々な電動のパーソナルモバイルの走行空間も確保されています。



すべての住宅の屋根には、太陽光発電パネルが設置され、駐車中のプラグインの自家用電気自動車に余剰電力は充電されます。都市交通の基幹となるLRTはすべてのJRに乗り入れ、架線のない路線ではバッテリートラムとなって走ります。

- 2050年までにCO2の80%削減を目指して、クリーンモバイル都市圏では
1. パーソントリップの自動車分担率を70% 50%とします。
 2. すべての自家用車、バスは電気自動車化し、エネルギー効率を2倍以上にします。
 3. 自転車道の整備で、歩行者2輪車の分担率を25% 35%にします。
 4. 公共交通を一体化して交通連合を作り、分担率を5% 15%にします。
 5. すべての人が安心安全のもと、自由にいつでも移動できる環境を整備します。

NPO法人・公共の交通ラクダ(クリーンモバイル研究所)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15(禁酒会館3F) TEL&FAX 086-232-5502
 E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp RACDA 検索

詳しくは http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/ まで





ぶらっと鉄道の旅

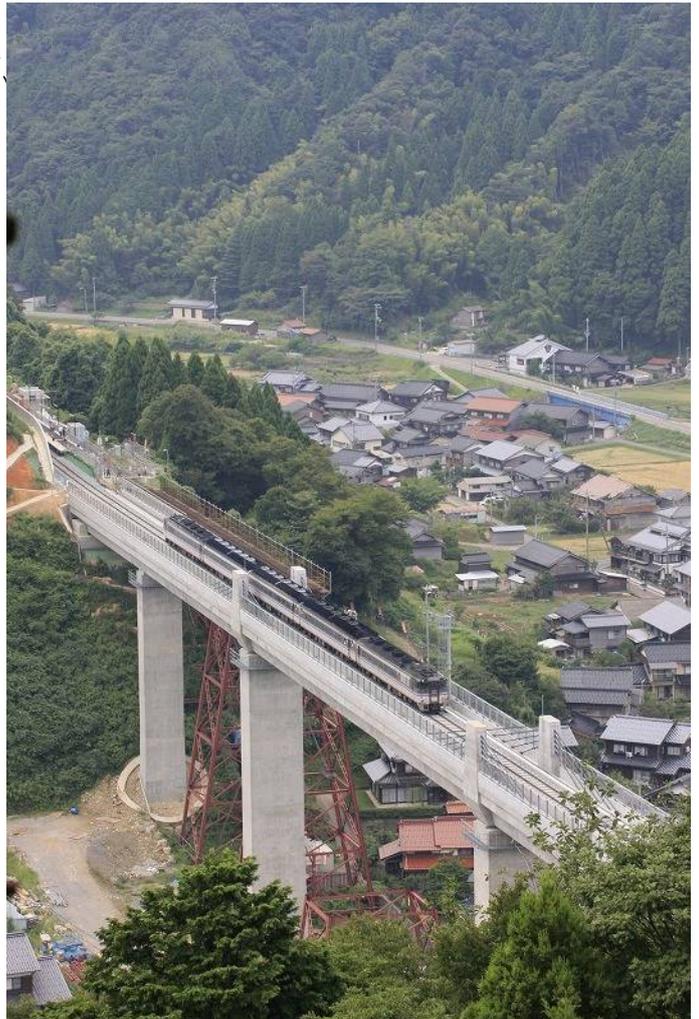
い。窓側がいい。乗降口が近い方がいいなど、希望の位置を伝えてみましょう。

時間はいくらかかって、青春18きっぷがおすすめてです。普通・快速列車に乗り放題になるきっぷで、ちょっとした遠出には最適です。利用にはちょっとした条件があるので、駅で確認してからの購入をお勧めします。

パート3: 旅のともを手に入れる列車に乗ったら寝るといのもおすすめてですが、それではさすがに味気ないので、何か旅のともになるものを用意しておきましょう。おすすめては駅弁と小説です。駅弁は、キヨスクのおばさまにおすすめてのものを聞いてみましょう。小説は、鉄道ミステリーや紀行はいいかがでしょうか。私としては西村京太郎がおすすめてです。

パート4: 旅に出るきっぷを買ったら旅に出るまでどきどきしながら待ちます。予定の日が来たらさあ出発です。カメラを持ってたくさん写真を撮るもよし、列車内で地元の方と語らうもよし、ガタゴトと揺られながら寝るもよし、旅のともと格闘するもよし。楽しみ方は人それぞれ、正解はありません。

パート5: みんなに自慢する旅から帰ったら、家族に知人に友人にたっぷり自慢し



ましよう。あその景色は凄かった。あの駅は古かった。などなど自慢のタネはたくさんあるはず。その自慢を聞いた人は、きっと旅に出たくなっているはず。今度はその人を連れて旅に行ってみてください。いい思い出がきっと増えるはずです。

こんな感じで鉄道旅には何にも難しいことはありません。一人でも家族でも、友人とでも、是非、鉄道旅に出かけてみませんか？

もう8月、そろそろ夏休みという方も多いと思います。夏休みの計画は立っていますか？「えー、まだー」という方、家でのんびりするのでもいいですが、ちょっとした鉄道旅に出かけてみませんか？

パート1: 時刻表ぴらぴら

まず、心をまっさらにして時刻表をめぐってみます。時刻表なんて無いという方は書店にGO。大きい時刻表でも1000円ちょっとで買えますので、是非、小さいコンパクトタイプでもいいですが、慣れないと見にくいのであまりお勧めできません。

パート2: きっぷを買う

目的地が決まったら駅にいききっぷを買きましょう。「どの列車に乗ればいいの？」という方は窓口の係員に「どこからどこまで、どこどこを何時に出、どこどこに何時くらいに着きたい」という事を伝えてみてください。係員はきっぷ確保のプロフェッショナル、きっと最適な答えをしてくれるはず。ここで、ポイントがひとつ。指定席券を頼む場合は、あなたの希望をある程度かなえることができます。トイレの近くがい

